

第9回大学教育改革フォーラム

高等教育における教育改革と経営改善

開 会 の 辞

荒 木 光 彦（京都大学高等教育教授システム開発センター長）

（荒木） 第9回大学教育改革フォーラムを開始します。センター長の荒木が司会をつとめさせていただきます。3年前からセンター長をしていますが、本来の所属は京都大学工学研究科の電気工学専攻です。

このフォーラムは1994年に開始しています。第1～3回までは日本の大学をどうするか、これからの大学はどのような人間の育成を目指すか、大学教育の個性化をどう進めるかという、グローバルな話題で始めました。そのあとの2回は、これからの教養教育をどうするか、大学の授業をどう変えるかについて考えました。それからFDと評価に焦点を合わせて、1999年にはFDをどう組織化するか、2000年度には大学教員の教育能力をどう開発するか、昨年度は大学教育評価をどうするか、という話題を扱いました。

国立大学の法人化も来年、あと1年と迫りましたので、本年は「高等教育における教育改革と経営改善」というテーマを取上げました。

3年前は京大の南の方にある古い楽友会館で、ほぼ150人の参加者でした。昨年は電気の大講義室で、300人強が入ることができたのですが、少しお客さんが多すぎて、入りきれずにお帰りいただいた方もいたようです。

そこで本年は、350人が入れるこの教室に場所を変えましたが、それでも不十分と予測されますので、こちらから隣の部屋へ画像と音声を送れるシステムを使います。これは4月から大人数の授業に使うことになっていますが、本フォーラムのために補足整備しました。本日は、たぶん500人くらいはご参加いただいていると思います。このように毎年盛会になっているのは、やはり高等教育に関する問題と皆さんの関心が年々、倍増しているということかと思っています。

私の挨拶はこれで終りとさせていただきます。早々、京都大学の長尾眞総長からご挨拶を兼ねて少しお話をいただきます。長尾先生のお話のレジュメは、「変わりゆく大学」A4の2枚もの、両面4ページのコピーです。

それでは長尾先生、ご紹介はもうよろしいかと思いますので、早々、ご挨拶兼ご講演をお願いします。